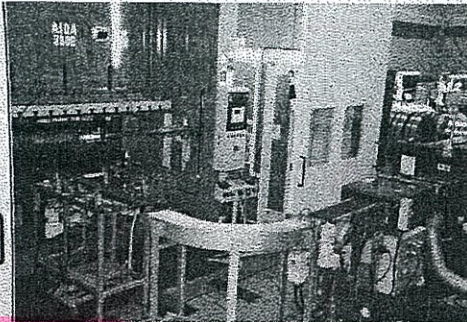


佐藤工業、IoT推進

タブレットで作業管理

【名古屋】佐藤工業（愛知県あま市、植村達司社長、052・441・7771）は、IoT（モノのインターネット）を活用した生産業務の効率化を推進する。プレスラインの生産に関する情報をリアルタイムで見える化するほか、タブレットで作業指示や作業記録などを管理できるようにする。現場のデジタル化でムタな作業を省いて業務フローを改善し、コスト削減など収益力の強化につなげる。



佐藤工業はプレスラインの生産に関する情報を見える化する（本社工場）

佐藤工業は、IoT（モノのインターネット）を活用した生産業務の効率化を推進する。プレスラインの生産に関する情報をリアルタイムで見える化するほか、タブレットで作業指示や作業記録などを管理できるようにする。現場のデジタル化でムタな作業を省いて業務フローを改善し、コスト削減など収益力の強化につなげる。

即座に集計できるなど工数削減を見込む。また親会社のセレンディップ・ホールディングス（名古屋市中区）のグループ会社である三井屋工業（愛知県豊田市）の電子日報アプリケーション（応用ソフト）を活用。このほど同アプリの導入したタブレットを導入した。外観検査などを担当する作業者はタブレットで作業指示を把握でき、生産に関する記録も手軽にできる。設備の異常発生時や

検査で判断に迷った時などに監督者を呼び出し、問題解決までの時間を計測・データ化して改善につなげる。従業員の体調チェックにも活用。連動するスマートフォンウオッチの導入も想定する。佐藤工業は2015年にセレンディップ傘下となり、グループを進めている。今後は生産管理システム上で在庫管理と連携するシステムの構築に取り組み考え。

【金沢】エムシー（石川県小松市、米倉和秀社長、0761・21・7111）は、小物を収納するバスの装備品「サービスポックス」と一体化したセ

バス装備品と一体エムシー、消毒液

【金沢】エムシー（石川県小松市、米倉和秀社長、0761・21・7111）は、小物を収納するバスの装備品「サービスポックス」と一体化したセ

佐藤工業は自動車向けについてシステムを整え、プレス部品を得意と備した。電源や稼働状況など生産に関する情報をリアルタイムで集計し、管理者のパソコンやオフィスのディスプレイに表示して確認しやすくする。従来は紙の集計用フォームに手書きで記入

新型パーキングブレーキ投入

日立AMS、小型商用車向け

日立オートモティブ 同ブレーキはSUV、パーキングブレーキ

車載オーディオシステム

中国社のEVに供給

【浜松】ヤマハは車載オーディオシステム（Eマ）が、中国の浙江吉利控股集团傘下のマハが量産時に組み込まれる標準品として車載オーディオシステム（Eマ）を受注したのは初めて。搭載車両は2021年の発売予定。中国や欧州などで販売

ヤマハ車載オーディオシステムはスピーカーとアンプで構成。信号処理技術も駆使し、全座席にクリアなサウンドを届ける。アクセラレーション

品としては初めて。車載オーディオシステムはスピーカーとアンプで構成。信号処理技術も駆使し、全座席にクリアなサウンドを届ける。アクセラレーション

災害支援用EV製作

日産自動車は、災害復興支援を目的に電気自動車（EV）「リーフ」をベースに製作し、自然災害などによる停電



2021年の発売予定。中国や欧州などで販売

日産自動車は、災害復興支援を目的に電気自動車（EV）「リーフ」をベースに製作し、自然災害などによる停電